

学校だより

高野山小学校

平成29年12月15日 No15

～意欲的に学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成～

県指導委員の近藤先生に理科の授業をしていただきました。



12月1日、福井県から和歌山県の理科の授業力向上のために派遣され県内各地で模擬授業をしている近藤先生に来校いただき、本校5年生に理科「ふりこ」の授業をしていただきました。伊都地方内外のたくさんの先生方が参観する中、近藤先生から出された課題「1秒で1往復する振り子」をつくるために、子どもたちは3名ずつグループに分かれ互いに協力しながら、重りの重さ、ひもの長さ、振れ幅を変え、実験に没頭していました。子ども達とは、全くの初対面でありながら、巧みな話術で子どもをひきつけ、魅力ある授業を展開する近藤先生に感心すると共に、課題提示の仕方など多くのことを学ぶことができました。授業後、子ども達の話や態度や授業に対する前向きな姿勢など、参観いただいた多くの先生方から、お褒めの言葉を頂きました。

本年度2回目の給食試食会を実施しました

12月4日、PTA家庭教育部主催による本年度2回目の給食試食会が開催されました。今回は、保護者の皆様に事前に頂いた質問に井手上栄養士が答えるという形式で行われました。

Q：メニューは、以前からの踏襲のものですか？今の栄養士の先生が考えられたものがありますか？

A：高野町に勤務して、毎年、新しいメニューを取り入れ今は半々ぐらい。

A：自校炊飯ができるようになり、ほとんどご飯となった。ご飯は、おかずが合わせやすいので、メニューも増えた。

Q：他の自治体とも交流や研修などがありますか？

A：伊都地方、県で栄養士の研究会があり献立や調理方法、食に関する指導などについて定期的に研修や交流を行っている。良いものは、どんどん取り入れています。

Q：栄養士の先生からみて、今の給食の改善点や、もっとこうしたいということがありますか？

A：手作りメニューを増やしたいとか新しい食器が欲しいとか小さなことはたくさんありますが、理想は生産者、給食センター学校、家庭など、みんながつながる学校給食にしたいと思っています。

今回も、お忙しい中、保護者の皆様に試食いただき貴重なご意見を頂きました。準備いただきました家庭教育部の皆さん、本当にありがとうございました。



本校恒例のもちつき大会を開催しました



12月8日、PTA社会文化部主催のもちつき大会を開催しました。前日から社会文化部に加え家庭教育部、実行委員の皆様等、保護者の皆様にもお手伝い頂き、盛大に開催されました。また、御菓子司 さざ波の前さんにも大切な業務用の蒸し器から用具一式をお貸し頂いた上に準備の仕方から蒸し作業までご指導、お手伝い頂きました。当日は、朝から降り出した雨がみぞれとなり、本格的に雪が積もる、たいへん寒い日となりましたが、体育館の中は、もち米を蒸す蒸気と、もちをつく子どもたちの元気なかけ声で、熱気にあふれていました。みんなで交代しながらつき上げ、丸めたおもちは、あぶりバター、きなこ、砂糖醤油、のりなど、自分の好きな食べ方でとってもおいしく頂きました。

縦割り活動 ギネス大会

5、6年生が準備、運営し、4年生が下学年を引き連れて各コーナーをまわり、記録に挑戦するギネス大会を行いました。ポーリング、空き缶積み、ピンポン・ボールつきコーナーなど従来の競技に加え、今年は、6年生がお化け屋敷コーナーをつくり、人気を集めました。子どもたちにとってワクワク、ドキドキな一時となりました。

高学年が下学年の手本となり、また、下学年は上学年を見習い、今度は自分たちがより良いコーナーを作り、下学年を楽しませたいという、思いやりの気持ちを育てながら、低学年から高学年まで、仲の良い子どもたちに育ててほしいと願っています。

